

天文教育

2012 1

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



撮影：倉敷科学センター

〈特集〉 2011 年度近畿支部会報告

—テーマ「大学での天文教育のニューウエーブ」、一般発表—

〈特集〉 関東支部会報告 —天文、宇宙を魅（見）る—

〈連載〉 恒星天文学の源流／天文学史教材としての天体観測儀器 3DCG 復元
宇宙を観じる生活を！

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

年末の皆既月食

撮影時：2011年12月10日 20時48分から

およそ30分おきの撮影画像11枚を合成

撮影地：岡山県倉敷市・倉敷科学センター

機材：高橋製FCT-100+Nikon D50

2011年12月10日深夜から未明にかけての皆既月食の経過をとらえた合成写真。岡山では強風の中ではあったが、雲がない好天に恵まれ、欠け始めから復円までの全経過を楽しむことができた。

週末の深夜と観察しやすい条件が整っていたため、多くの人々が実際の夜空の下で皆既月食を体験できただけでなく、インターネットを活用したライブ中継も各地で企画され、のべ225万人以上がネットを介して月食中継を視聴したと伝えられている。

撮影：石井元巳（倉敷科学センター）

合成と文：三島和久（倉敷科学センター）